

【三溪園】(1906年(明治39)公開。2007/1に名勝に指定)

実業家(生糸貿易)の原三溪(本名・富太郎)が造った広さ17.5万²の日本式庭園。地形が三つの溪(谷)をもつことから、三溪園と名付け、富太郎も三溪と名乗った。緑に囲まれた豊かな自然と、歴史的建造物が並ぶ、横浜きっての名園。(現在、重要文化財10棟・横浜市指定有形文化財3棟)。園内は外苑「1908年(明治41)」と内苑「1923年(大正12)完成」からなり、昭和28年、横浜市に寄付。

外苑の主な建造物

* 鶴翔閣[市有形文]: 明治35年頃に建てた自邸。横山大観、下村観山などが滞在し、創作活動を行った。修理復元して平成12年公開。

* 旧燈明寺三重塔[重文]: 京都府の燈明寺より移築。1457(康正3)年頃の再建とみられる関東最古の塔。

* 旧東慶寺仏殿[重文]: 屋根は入母屋造から寄棟造に改められているが、禅宗様の仏殿の特色をよく伝えている。

* 旧矢筈原(ヤハラ)家住宅[重文]: 白川郷より移築。江戸中期の上層農民の生活ぶりが伺える。

梅は約2,000本。上海から寄贈の緑萼梅・臥竜梅は珍しい。

【根岸森林公園・根岸競馬記念公苑】

慶応3(1867)年に建設された日本初の西洋式競馬場・根岸競馬場の跡地を利用した自然公園。昭和44年に米軍に接收された一部解除された土地を市が整備、大きな芝生広場を中心にした森林公園(28.4ha)が昭和52年に開園。残りを中央競馬会が競馬記念公苑(2.4ha)を建設。

梅も約330本、桜も約340本植えられ楽しめる。

不動坂: 根岸町にある白滝不動堂(磯子区上町の明王山不動院宝積寺の境外仏堂)に由来。

滝之上: 町名は不動堂の脇を流れ落ちる滝があり、その上に当たることから名付。

根岸: 「ネギシ」は「山・岡の麓に沿った地」、「崖・斜面」を意味。